



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場取引所 東・名

上場会社名 太平洋工業株式会社

コード番号 7250

URL <http://www.pacific-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川信也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 渡辺智

(TEL) 0584-93-0117

四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	100,607	16.0	6,711	17.3	7,799	7.7	5,746	6.6
30年3月期第3四半期	86,762	14.4	5,719	△9.3	7,241	△0.0	5,389	△1.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 4,525百万円(△48.3%) 30年3月期第3四半期 8,747百万円( 58.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	95.33	94.76
30年3月期第3四半期	90.23	88.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	195,498	94,888	47.9
30年3月期	158,858	91,913	57.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 93,739百万円 30年3月期 90,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
31年3月期	—	14.00	—		
31年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	17.2	9,600	19.1	10,800	13.9	7,800	5.5	129.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 2社 (社名) PACIFIC AUTO PARTS (THAILAND) CO., LTD. 、除外 1社 (社名)  
 AUGUST FRANCE HOLDING COMPANY SAS
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期3Q	61,311,784株	30年3月期	61,268,395株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,001,411株	30年3月期	1,001,061株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期3Q	60,284,183株	30年3月期3Q	59,726,068株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	3
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

## 1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

### (1) 【経営成績に関する説明】

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が持続し、緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、米国・欧州の経済は緩やかな回復が継続したものの、中国の経済は成長ペースが鈍化しつつあります。世界経済の先行きは、米中貿易摩擦による景気減速等により不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、日本、米国および中国において、総じて前年同期並みに推移しました。

このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、新規売上の獲得や株式取得した子会社を連結したこと等により1,006億7百万円（前年同期比16.0%増）となりました。利益面では、戦略的な設備投資による減価償却費の増加や株式取得に伴う費用の発生等があるものの、売上増による利益増や原価改善、連結子会社数の増加等により、営業利益は67億11百万円（前年同期比17.3%増）となりました。経常利益は株式取得の資金調達に伴う支払手数料の発生もあり77億99百万円（前年同期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億46百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

当社は平成30年8月31日付でフランス AUGUST FRANCE HOLDING COMPANY SAS 及び SCHRADER SAS の株式100%を取得しました。また米国 SCHRADER-BRIDGEPORT INTERNATIONAL, INC. の株式100%を当社の米国の100%子会社PACIFIC INDUSTRIES USA INC. が取得しました。（以下、新たに取得した3社をSchrader社という。）

日本・アジアで高いシェアを誇る当社のバルブ製品事業と、欧米市場に強いSchrader社がグループとなることで、日本・アジア・北米・欧州に生産・販売拠点を有する世界4極体制の構築、製品・技術ラインナップの拡充・製品開発力の向上、グローバル生産体制の最適化とシナジーの創出によるコスト競争力の強化が可能となり、中長期的な観点からも同事業の基盤強化と成長に大きく貢献することとなり、企業価値向上に資するものと判断しております。

#### 【セグメント別の状況】

##### （プレス・樹脂製品事業）

主要顧客の自動車生産台数は、日本、米国および中国ともに前年同期並みで推移しましたが、新規製品の拡販が寄与し、当事業全体の売上高は696億28百万円（前年同期比13.8%増）となりました。利益面では、売上増による利益増や原価改善等により、営業利益は19億37百万円（前年同期比75.8%増）となりました。

##### （バルブ製品事業）

TPMS製品および鍛圧製品の販売物量の増加や連結子会社数の増加等により、当事業全体の売上高は308億25百万円（前年同期比21.2%増）となりました。利益面では、株式取得に伴う費用の発生等があるものの、売上増による利益増や連結子会社数の増加等により、営業利益は47億50百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間よりSchrader社を連結対象に含めております。四半期連結損益計算書には、米国Schrader社の平成30年9月1日から平成30年12月31日までの業績およびフランスSchrader社の平成30年9月1日から平成30年9月30日までの業績を含みます。

##### （その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は1億53百万円（前年同期比6.0%増）、営業損失が21百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,954億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して366億40百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は589億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して150億95百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が60億11百万円、たな卸資産が68億57百万円それぞれ増加したことによるものであります。その主な理由は、第2四半期連結会計期間末よりSchrader社を連結子会社化したためであり、その影響額は、流動資産が85億53百万円、現金及び預金が22億6百万円、たな卸資産が28億36百万円それぞれ増加しております。

固定資産は1,365億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して215億44百万円の増加となりました。これは主に、連結の範囲に含めたPACIFIC AUTO PARTS (THAILAND) CO., LTD. 向け長期貸付金（投資その他の資産のその他に表示）が内部取引消去により34億45百万円減少した一方、有形固定資産が戦略的な設備投資の実施に伴い132億28百万円増加（うち、Schrader社の連結により23億53百万円増加）、のれんがSchrader社の株式取得に伴い138億45百万円発生したことによるものであります。のれんの金額は、取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

負債の部では、流動負債は419億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して44億32百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が16億44百万円、長期借入金からの振替えにより1年内返済予定の長期借入金が14億9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は586億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して292億32百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が288億88百万円増加したことによるものであります。長期借入金の増加の理由は戦略的な設備投資及びSchrader社の株式取得資金の調達であり、当第3四半期連結会計期間において短期借入金から長期借入金へ借り換えております。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が14億42百万円減少した一方、利益剰余金が39億91百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末から29億75百万円増加し948億88百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は47.9%となり、前連結会計年度末と比較して、9.3ポイント減少しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、平成30年10月31日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

なお、第4四半期連結会計期間の為替レートは1US\$=105円を想定しております。

平成31年3月期 通期の業績予想値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	135,000	9,000	10,500	7,600	126.07
今回修正予想(B)	138,000	9,600	10,800	7,800	129.37
増減額(B-A)	3,000	600	300	200	—
増減率(%)	2.2%	6.7%	2.9%	2.6%	—

## 2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,081	20,092
受取手形及び売掛金	17,592	19,050
商品及び製品	3,897	7,241
仕掛品	3,597	6,285
原材料及び貯蔵品	2,040	2,866
その他	2,719	3,558
貸倒引当金	△41	△111
流動資産合計	43,887	58,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,943	21,249
機械装置及び運搬具(純額)	27,724	32,585
工具、器具及び備品(純額)	5,763	7,451
土地	5,886	7,462
リース資産(純額)	377	411
建設仮勘定	16,620	20,384
有形固定資産合計	76,315	89,544
無形固定資産		
のれん	-	13,845
その他	936	854
無形固定資産合計	936	14,700
投資その他の資産		
投資有価証券	28,659	26,304
繰延税金資産	280	450
その他	8,783	5,520
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	37,718	32,271
固定資産合計	114,970	136,515
資産合計	158,858	195,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,951	9,596
電子記録債務	7,655	7,971
短期借入金	4,021	3,987
1年内返済予定の長期借入金	4,582	5,992
未払金	4,661	4,976
未払法人税等	991	601
賞与引当金	1,460	845
役員賞与引当金	48	39
その他	6,160	7,956
流動負債合計	37,534	41,967
固定負債		
長期借入金	21,804	50,693
繰延税金負債	6,397	6,003
役員退職慰労引当金	206	196
退職給付に係る負債	303	731
その他	697	1,018
固定負債合計	29,410	58,642
負債合計	66,945	100,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,296	7,316
資本剰余金	7,606	7,625
利益剰余金	61,340	65,332
自己株式	△284	△285
株主資本合計	75,958	79,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,768	11,325
為替換算調整勘定	1,627	1,828
退職給付に係る調整累計額	585	595
その他の包括利益累計額合計	14,981	13,750
新株予約権	232	274
非支配株主持分	740	874
純資産合計	91,913	94,888
負債純資産合計	158,858	195,498

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	86,762	100,607
売上原価	74,549	86,374
売上総利益	12,212	14,232
販売費及び一般管理費	6,493	7,521
営業利益	5,719	6,711
営業外収益		
受取利息	92	56
受取配当金	606	569
持分法による投資利益	527	502
為替差益	276	131
その他	221	224
営業外収益合計	1,724	1,484
営業外費用		
支払利息	175	189
支払手数料	-	190
その他	26	16
営業外費用合計	202	395
経常利益	7,241	7,799
特別利益		
固定資産売却益	-	128
特別利益合計	-	128
特別損失		
固定資産除売却損	164	58
特別損失合計	164	58
税金等調整前四半期純利益	7,077	7,869
法人税等	1,670	2,105
四半期純利益	5,406	5,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,389	5,746



## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	5,406	5,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,358	△1,406
為替換算調整勘定	881	190
退職給付に係る調整額	109	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△32
その他の包括利益合計	3,341	△1,238
四半期包括利益	8,747	4,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,704	4,515
非支配株主に係る四半期包括利益	43	9

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,178	25,438	86,617	144	86,762	—	86,762
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	261	261	△261	—
計	61,178	25,438	86,617	406	87,023	△261	86,762
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,102	4,584	5,686	△5	5,680	38	5,719

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額38百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	69,628	30,825	100,454	153	100,607	—	100,607
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	254	254	△254	—
計	69,628	30,825	100,454	407	100,861	△254	100,607
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,937	4,750	6,688	△21	6,666	44	6,711

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額44百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「バルブ製品事業」セグメントにおいて、AUGUST FRANCE HOLDING COMPANY SAS、SCHRADER SAS 及び SCHRADER-BRIDGEPORT INTERNATIONAL, INC. の株式を取得し連結子会社化したことに伴い、のれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの金額は、13,845百万円としておりますが、取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。